

「円周率は3」

中国学生卓球連盟 副幹事長 池田直生

この度は、第15回日学連アゴラに文章を掲載していただけますことを、この場において感謝申し上げます。

一般的に小学校では円周率を”3.14”で学ばれています。しかし、ゆとり世代では円周率を”3”で学んでいたこともありました。しかし、学校で教えるのは”3”までであったとしても、自分の力で学ぶことで”3.14”までとして学ぶこともできたはずあり、実際に僕が小学校で学ぶころには円周率は”3.14”で学ばれていました。自分の力で頑張ることができれば、円周率を”3”から”3.14”まで学ぶ範囲を増やすことができると思います。

学連の仕事についても同じで、自分が頑張れば与えられた仕事以上のこともできるし、自分から必要な仕事を見つけることもできるのではないかと僕は考えています。卓球の実力についても同様に自分で学ぶことで、終わりなく自分の力を高めていくこともできると思います。

特に今年度、中国学連では第19回全日本学生選抜卓球選手権大会を11月に控えており、この大会の運営は僕にとっては初めて経験することになる全国規模の大会の運営になっています。この全日学選抜の運営での仕事は初めて知ることばかりで大変はありますが、新たなことをたくさん学び自分で頑張ることで、良い大会にしていきたいと考えています。

また、円周率は”3.14159265358979…”と終わりなく続いていくように、全日学選抜に関わらず、学連の仕事や卓球選手としての自分についても決して終わりではなく、自分が頑張れば大会をより良いものにしていくことができるし、さらに実力をつけていくこともできるでしょう。そのため、これからも今の結果に満足することなく、さらに新しく学んでいくという気持ちを忘れず頑張っていきたいと思います。

最後までお読みいただきありがとうございました。